3

**1. Whatever may happen, I won't be surprised.**

- **和訳**: 何が起ころうとも、私は驚かないでしょう。
- **構造と解説**:
  - **Whatever may happen**: 「何が〜しようとも」という意味を作る複合関係代名詞 Whatever の譲歩節です。Whatever 自体が節内の主語（S）で、happen が動詞（V）です。
  - **may**: 譲歩節中で用いられる may は「〜しようとも」という可能性や条件の広がりを補強する助動詞です。

**2. Whichever you may eat, you will find it delicious.**

- **和訳**: どちらを食べても、おいしいと思うでしょう。
- **構造と解説**:
  - **Whichever you may eat**: 「どちらを〜しようとも」という意味を表す譲歩節です。Whichever は目的語（O）の役割を果たしており、語順は **Whichever (O) + you (S) + may eat (V)** となります。2 つの選択肢から選ぶニュアンスが含まれます。
  - **find A B**: 「A が B だと分かる・思う」という第 5 文型（SVOC）の構文です（it ＝ A、delicious ＝ B）。

**3. Wherever I may go, I hear of her.**

- **和訳**: どこへ行こうとも、私は彼女の噂を耳にします。
- **構造と解説**:
  - **Wherever I may go**: 「どこへ〜しようとも」という意味を表す複合関係副詞 Wherever の譲歩節です。場所の条件をすべて網羅します。
  - **hear of ...**: 「〜の噂を聞く」「〜の評判を耳にする」という意味の慣用表現です（直接話を聞く hear from とは区別します）。

**4. However hard you may try, you can't do it in a day.**

- **和訳**: どれほど熱心に試みようとも、それを 1 日で成し遂げることはできません。
- **構造と解説**:
  - **However hard you may try**: 「どれほど〜であっても」という譲歩節です。語順は **However + 形容詞/副詞 + S + V** となり、ここでは副詞の hard（一生懸命に）が However の直後に引き寄せられています。
  - **in a day**: 「1 日のうちに」「1 日未満で」という意味を表す前置詞句です。

**5. He won't change his mind whoever may ask him to.**

- **和訳**: 誰が頼もうとも、彼は決心を変えないでしょう。
- **構造と解説**:
  - **whoever may ask him to**: 文末に置かれた「誰が〜しようとも」という譲歩節です。whoever が節内の主語（S）として機能しています。
  - **代不定詞 to**: 末尾の to の後ろには、前出の動詞句 change his mind が省略されています（whoever may ask him to change his mind）。

4

**1. ( However ) hard I study, I won't be able to beat my brother.**

**【正解】 However 【和訳】 どんなに一生懸命勉強しても、私は兄（弟）には勝てないだろう。**

**【解説】**

- **文法のポイント： However + 形容詞/副詞 + S + V （どんなに〜でも）**
- カッコの後ろに **hard（一生懸命に）** という副詞が来ています。このように、後ろに直接「形容詞」や「副詞」を引っ張ってこれるのは、今回の選択肢の中では **however** だけです。「どんなに一生懸命に（However hard）私が勉強しても（I study）」という譲歩（たとえ〜だとしても）の副詞節を作っています。

**2. ( Wherever ) she may be, I'll never forget her.**

**【正解】 Wherever 【和訳】 彼女がどこにいたとしても、私は絶対に彼女を忘れない。**

**【解説】**

- **文法のポイント： 場所を表す譲歩 Wherever + S + V （どこで〜しようとも）**
- 文の後半で「私は絶対に彼女を忘れない」と言っています。文脈として、「彼女が（世界中の）**どこに**いたとしても」とするのが自然です。後ろの she may be の be は「いる、存在する」という意味の be 動詞です。複合関係詞の譲歩の用法（たとえ〜でも）では、この文のように助動詞の **may** が一緒に使われることがよくあります。

**3. I feel like singing ( whenever ) I am happy.**

**【正解】 whenever 【和訳】 私は嬉しい時はいつでも歌いたくなる。**

**【解説】**

- **文法のポイント： 時を表す whenever＋S＋V （〜する時はいつでも）**
- 前半の I feel like singing は「私は歌いたい気分だ（歌いたくなる）」、後半の I am happy は「私は嬉しい」です。この 2 つの文を繋ぐには、「私が嬉しい**時はいつでも**」という「時」を表す言葉がぴったりです。whenever は接続詞として働き、「〜する時はいつでも」という副詞節を作ります。

**4. ( Whatever ) she said to him made him cry.**

**【正解】 Whatever 【和訳】 彼女が彼に言ったことは何でも、彼を泣かせた。**

**【解説】**

- **文法のポイント： 名詞節を作る Whatever＋S＋V （〜するものは何でも）**
- この問題は少しだけ文の構造（形）が複雑です。全体の動詞は made （〜させた / 使役動詞）です。つまり、**[ ( ) she said to him ]** というカタマリ全体が、この文の「主語」になっています。「主語」になれるのは「名詞」だけです。選択肢の中で「〜するものは何でも」という名詞のカタマリ（名詞節）を作れるのは **Whatever** だけです（※Whenever, Wherever, However は副詞のカタマリしか作れません）。直訳すると「彼女が彼に言った**ことは何でも**（主語）、彼を泣く状態にさせた（動詞）」となります。

**5. I really want the car, ( however ) much it may cost.**

**【正解】 however 【和訳】 どんなに費用がかかろうとも、私はその車が本当に欲しい。**

**【解説】**

- **文法のポイント： However＋ 形容詞/副詞 ＋S＋V （どんなに〜でも）**
- これは第 1 問と同じパターンです。カッコの後ろに **much（たくさん）** という副詞が来ています。もともとは it may cost much （費用がたくさんかかるかもしれない）という文ですが、however が much を引き連れて文の先頭に飛び出しています。however much it may cost で「それがどんなに多く費用がかかるものであったとしても」という譲歩の意味になります。

5

**1. 君が会って欲しいという人にはだれにでも会おう。**

- **正解**：I will see **whomever you want me to see**.
- **解説**：
  - **複合関係代名詞 whomever**：「〜する人はだれでも（誰にでも）」という意味で、他動詞 see の目的語となる節を作ります。
  - **want＋ 目的語 ＋to do**：「（目的語）に〜してほしい」の形を使います。you want me to see で「あなたが私に会ってほしい」の意味になります。

**2. たとえどんなに上手に運転しても、事故は起こるかもしれない。**

- **正解**：**No matter how well you drive**, accidents can happen.
- **解説**：
  - **no matter how＋ 副詞 ＋S＋V**：「たとえどんなに〜に S が V しても」という譲歩の副詞節を表します（however well you drive と言い換え可能）。
  - well（上手に）が副詞として動詞 drive を修飾するため、how の直後に置きます。

**3. たとえどんなにゆっくり運転していても、十分注意していなければならない。**

- **正解**：**No matter how slowly you are driving**, you must be very careful.
- **解説**：
  - **no matter how＋ 副詞 ＋S＋V** の構文です。
  - 「〜運転していても」と現在進行中の状態を表すため、S＋V の部分は進行形 you are driving となります。

**4. ご都合のよいときにいつでもいらしてください。**

- **正解**：Please come **to see me whenever it is convenient to you**.
- **解説**：
  - **come to see me**：「私に会いに来る」という目的を表す不定詞です。
  - **whenever**：「〜するときはいつでも」という接続詞です。
  - **it is convenient to [for] you**：「あなたにとって都合が良い」という慣用表現で、形式主語の it を用います。

**5. お酒を飲むといつも踊りたくなる。**

- **正解**：**I feel like dancing whenever I drink.**
- **解説**：
  - **whenever**：「〜するといつも / 〜するときはいつでも」を表す接続詞です。
  - **feel like -ing**：「〜したい気がする / 〜したくなる」という重要熟語です。

**6. 老人は、聴いてくれる人がいれば、だれにでもその話をした。**

- **正解**：**The old man told the story to whoever would listen**.
- **解説**：
  - **tell A to B**：「B に A を話す」の第 3 文型です。
  - **whoever + V**：「〜する人はだれでも」という意味の複合関係代名詞で、前置詞 to の目的語節（名詞節）を作ります。
  - would は「〜しようとする」という過去の主語の意志を表しています。

**7. いくら念入りに説明してあげても、彼はそれを理解できないようだった。**

- **正解**：**However carefully I explained, he did not seem to** understand it.
- **解説**：
  - **however + 副詞 + S + V**：「いくら〜に S が V しても」という譲歩節です（no matter how carefully と同義）。
  - **seem to do**：「〜するように思われる」の過去否定形 did not seem to を用いて「理解できないようだった」を表します。

**8. 君たちの中で最初にここに到着する人にこの車をあげよう。**

- **正解**：**Whichever of you gets here first will get** this car.
- **解説**：
  - **whichever of + 複数代名詞**：「〜（のグループ）のうちどちらでも / だれでも」。全体で主語節を作ります。
  - whichever が導く節は**単数扱い**になるため、動詞には三人称単数の s がついて gets となります。
  - 全体の文構造は [Whichever of you gets here first] (S) + will get (V) + this car (O) となります。

6

**1. No matter what you may choose, she will like your present.**

- **文法解説**: No matter what は whatever に言い換え可能です。節内では what が動詞 choose の目的語の役割を果たしています。助動詞 may は譲歩のニュアンス（〜かもしれないが/〜であっても）を強めるために使われます。
- **和訳**: あなたがたとえ何を選んだとしても、彼女はあなたのプレゼントを気に入るでしょう。

**2. No matter how busy you may be, don't forget to write to him.**

- **文法解説**: No matter how + 形容詞 [副詞] は however + 形容詞 [副詞]（たとえどんなに〜でも）を表します。ここでは形容詞 busy を修飾しています。主節は forget to do（〜することを忘れる）の否定命令文です。
- **和訳**: たとえどんなに忙しくても、彼に手紙を書くのを忘れないでください。

**3. No matter which you borrow, please return it later.**

- **文法解説**: No matter which は whichever に言い換え可能です。what が不特定多数を指すのに対し、which は限定された選択肢の中から「どちらを / どれを」選ぶかというニュアンスを持ちます。
- **和訳**: たとえどれを借りたとしても、後で返してください。

**4. No matter who may call me, I won't answer the phone.**

- **文法解説**: No matter who は whoever に言い換えられます。ここでは who が節内の主語として機能しています。主節の won't（will not）は「どうしても〜しない」という拒絶・固執の意思を表します。
- **和訳**: たとえ誰が電話をかけてこようとも、私は電話に出るつもりはありません。

**5. You will always be welcomed no matter when you come.**

- **文法解説**: No matter when は whenever（たとえいつ〜しても）に言い換えられます。譲歩の副詞節は文頭だけでなく、この文のように文末に配置することも可能です。主節は受動態（be welcomed）になっています。
- **和訳**: たとえあなたがいつ来ようとも、いつでも歓迎します。

7

**1. No matter what may happen, he won't care.**

- **正解: Whatever**
- **和訳:** たとえ何が起ころうとも、彼は気にしないだろう。
- **解説:** no matter what は「たとえ何が〜しようとも」を意味し、1 語の whatever（複合関係代名詞）に書き換えられます。ここでは節内で主語の役割（何が起こるか）を果たしています。

**2. No matter who may say so, it can't be true.**

- **正解: Whoever**

- **和訳:** たとえ誰がそう言おうとも、それが本当であるはずがない。
- **解説:** no matter who は「たとえ誰が〜しようとも」を意味し、1 語の whoever（複合関係代名詞）と同義です。節内で動詞 say の主語になっています。

**3. No matter where she may go, she will find someone to talk to.**

- **正解: Wherever**
- **和訳:** 彼女がどこへ行こうとも、話し相手が見つかるだろう。
- **解説:** no matter where は場所の譲歩「たとえどこへ〜しようとも」を表し、1 語の wherever（複合関係副詞）に置き換わります。

**4. No matter when you visit her, you will find her in the kitchen.**

- **正解: Whenever**
- **和訳:** あなたがいつ彼女を訪ねようとも、彼女は台所にいるだろう。
- **解説:** no matter when は時間の譲歩「たとえいつ〜しようとも」を表し、1 語の whenever（複合関係副詞）に書き換えられます。

**5. No matter how much she drinks, she never gets drunk.**

- **正解: However**
- **和訳:** 彼女がどんなにたくさん飲もうとも、決して酔わない。
- **解説:** no matter how は程度や様態の譲歩「たとえどんなに〜でも」を表し、1 語の however（複合関係副詞）と同義です。no matter how や however の直後には、修飾する形容詞や副詞（この文では much）がそのままセットで続く語順になります。

8

**1. 好きなときに訪ねてください。**

- **完成文**: Please **visit** me **whenever** you want **to**.
  - **visit**: 「〜を訪ねる」を意味する他動詞です。
  - **whenever**: 「〜するときはいつでも」を表す複合関係副詞で、at any time when と同じ意味を持ちます。
  - **to（代不定詞）**: 文末の to は want to visit me の visit me の繰り返しを避けるための「代不定詞」です。動詞原形を省略して to だけを残します。

**2. 好きな人を招待してもかまいませんよ。**

- **完成文**: You may **invite whoever** you like.
  - **invite**: 「〜を招待する」を意味する動詞です。
  - **whoever**: 「〜する人は誰でも」を意味する複合関係代名詞で、anyone who(m) に言い換えられます。ここでは invite の目的語節をつくっており、「あなたが好きな人なら誰でも」という意味になります。（※文法的に目的格の whomever も可能ですが、現代英語では whoever が一般的です。）

**3. たとえどんなにあなたが賢くても、勉強を一生懸命しなさい。**

- **完成文**: No matter **how clever [smart]** you may be, study hard.
  - **No matter how + 形容詞/副詞 + S + V**: 「たとえどんなに〜であっても」という「譲歩」を表す重要構文です（however + 形容詞/副詞 に言い換え可能）。
  - **clever / smart**: 「賢い」を表す形容詞が入ります。how の直後には修飾する形容詞を置くルールがあるため、you may be clever の clever が前へ引き出されています。

**4. あなたが私のことを何と言おうとも、私の気持ちは変わりません。**

- **完成文**: No **matter what** you may say **about** me, I won't **change** my mind.
  - **No matter what + S + V**: 「たとえ何を〜しようとも」を表す譲歩表現です（whatever に言い換え可能）。
  - **say about ...**: 「〜について言う」を表す前置詞 about が適しています。
  - **change one's mind**: 「決心を変える / 気持ちを変える」という定番フレーズです。

**5. どんなに時間がかかっても、その仕事を終えなくてはいけない。**

- **完成文**: We have to get the work **done however long** it takes.
  - **get + 目的語 + 過去分詞（done）**: 「（目的語）を〜された状態にする / 終わらせる」という使役・完了の構文です。頭文字 (d) の指示があるため done が入ります。
  - **however long + S + V**: 「どんなに（時間が）長く〜かかっても」を意味します。takes は「時間がかかる」という意味の動詞で、時間を表す副詞 long が however とセットになって節の頭に出ています。